

## ○令和5年7月30日 説明会会場での質疑応答

説明会場でご発言いただいたご意見・ご質問です。

ご意見・ご質問は趣旨が変わらないよう、要旨としてまとめさせていただいております。

	ご意見・ご質問	回答
1	大町市街地に新しい道路を作るより、既設道路の草刈りや穴埋めなど、維持修繕や管理に予算を優先するべきである。	大北地域は高速交通ネットワークの空白地域であるため、規格の高い道路で中信地域と北陸地方が結ばれることで、物流の促進や新たな企業間の取引など地域産業の発展や観光の活性化、救急搬送の時間短縮など波及的効果が期待できるため、必要な道路と考えています。道路の修繕・維持管理については、限りある予算の中で計画的に進めているところです。
2	検討されている3つのルート帯はいつ決まったのか、大町市議会で議決は必要ないのか。人口減少の時代であり、時間短縮が僅かである道路整備に多額の税金を使う必要はない。インターチェンジが設置されても大町市は素通りされ、大町は繁栄しない。盛土構造は景観を阻害する。オリンピック道路を利用する計画にしてほしい。	令和2年8月に幅の広いルート帯として西ルート帯を決定した後、令和3年9月に幅の細いルート帯として3つのルート帯を公表しました。市議会へは、その都度、全員協議会でご説明し、ご意見をいただきながら進めてきています。大町市街地区間の現道は、概ね60km/hでの走行が困難であるため、バイパスによる新設道路のルート帯案としています。大町市街地区間の現道は、信号交差点や沿道からの出入りなどが影響し、走行の定時性確保に課題があります。現道を活用するためには、立体化など大幅な道路改良をする必要があり、沿道の皆様への影響が大きいと判断しています。
3	事業が中止になることはあるのか。	現在、最適ルート帯の決定に向け、段階を踏んで説明しながら進めてきているところです。地域の皆様のご理解ご協力を得られるよう丁寧な説明と意見交換を行いながら、できる限り早期にルートが決定できるよう努めてまいります。
4	オープンハウスの意見では、賛成・好意的な意見が多いとのことだが、賛成と反対の割合を教えてください。大町市全体も知りたい。	令和5年2月のオープンハウスでは532名の方にご参加いただき、そのうち353名からアンケートにご意見を記載していただきました。賛成や好意的な意見は全体の約6割でした。大町市民全体にアンケートを行う予定はございません。
5	松系道路の整備による経済効果はどう考えているのか。	大北地域は高速交通ネットワークの空白地域であるため、規格の高い道路で中信地域と北陸地方が結ばれることで、物流の促進や新たな企業間の取引など地域産業の発展や観光の活性化、救急搬送の時間短縮など波及的効果が期待できるため、必要な道路と考えています。
6	オリンピック道路の信号を撤去したり、大原クランクを直せば時間短縮できるのではないかと。信号は感知式や押しボタン式にすればよい。	大町市街地区間の現道は、概ね60km/hでの走行が困難であるため、バイパスによる新設道路のルート帯案としています。大町市街地区間の現道は、信号交差点や沿道からの出入りなどが影響し、走行の定時性確保に課題があります。現道を活用するためには、立体化など大幅な道路改良をする必要があり、沿道の皆様への影響が大きいと判断しています。信号機は交通弱者への配慮や地域と相談し、交通管理者に設置を要望してきた経過があります。
7	比較評価の結果はもっと早くに公表すべきである。住民が判断する十分な時間が必要であり、焦らずに検討したうえで大町の人たちが判断を下すべき。県に任せてはいけなと思う。	最適ルート帯の決定に向け、段階を踏んで説明しながら進めてきているところです。評価項目ごとに各ルート帯を比較評価した結果に対する皆様からのご意見及び大町市の考え方などを総合的に判断したうえで最適ルート帯を決定します。

8	3つのルート帯に影響のある住民の声を無視することはできない。説明会ではなく、大町市として地区ごとの懇談会などを開催してほしい。	現在はルート帯を選定している段階であるため、計画について多くの市民の皆様にご理解、ご意見をいただく段階と考えており、全体での説明会やオープンハウス等により対応させていただいています。最適ルート帯の決定後、決定経過等を各地区へ説明させていただきます。
---	---	--

## ○令和5年8月1日 説明会会場での質疑応答

説明会場でご発言いただいたご意見・ご質問です。

ご意見・ご質問は趣旨が変わらないよう、要旨としてまとめさせていただいております。

	ご意見・ご質問	回答
1	交通量の分析において、将来交通量の推計値はどのように算出しているのか。日本全体や大町市の人口は減少していることを反映しているのか。	平成22年度道路交通センサスをもとに将来交通量を推計しています。交通量は減少する推計値となっています。
2	松系道路による波及的効果とまちづくりの考え方について、大町市民にアピールできるようなプレゼンをしてほしい。	大町市のまちづくりの考え方なども今後説明を検討してまいります。
3	医療機関までの所要時間は、大町市街地内だけの計算ではないのはおかしい。大町市街地区間だけの時間は何分になるのか説明してほしい。	医療機関までの所要時間は大町市街地だけの短縮時間ではなく、路線全体で算出しています。大町市街地区間内の短縮時間は、3つのルート帯ともに約6分の短縮となります。
4	盛土構造により景観が阻害され、大町市の魅力が損なわれると考えるが、景観の損失について評価されていないのは疑問である。住民意見をもっとじっくり聞いてほしい。	景観は、人それぞれ感じ方や捉え方が違うため、定量的な評価は困難と考えております。いずれのルート帯も景観に対する影響は少なからず生じます。道路の構造は立体構造が必要と考えており、盛土構造を提案していますが、事業実施にあたっては、皆様と意見交換しながら道路の構造を決定し、できる限り道路の高さを抑えた道路構造や、周辺と調和したデザインとするなど、景観への影響を少しでも低減できるよう検討してまいります。
5	ルート帯100m幅に入っている全ての住民とは膝を交えて話をしに行してほしい。	現在はルート帯を選定している段階であるため、計画について多くの市民の皆様にご理解、ご意見をいただく段階と考えており、全体での説明会やオープンハウス等により対応させていただいております。最適ルート帯の決定後、決定経過等を各地区へ説明させていただきます。
6	道路を整備する上で一番重要なのはどれだけコストがかかってどれだけ移動時間が短縮されるのかということだと思う。たった6分を短縮させるために約300億円も要することが良いのか疑問に感じている。広いエリアの時間短縮ではなく、市街地区間のみを利用した短縮時間とコストを考えると誤解のないような掲載をしてほしい。	地域高規格道路としての機能を評価する項目のため、長野自動車道までの短縮時間をお示しました。大町市街地区間内の短縮時間は、3つのルート帯ともに約6分の短縮となります。誤解を与えないよう、わかりやすく記載いたします。
7	推計交通量を考慮して算出している比較結果の項目はどれか教えてほしい。	評価項目「交通の円滑化」、「環境の保全(住環境(大気)への影響)」、「安全な暮らしの確保(交通事故件数の変化)」、「まちづくりとの連携性(市街地環境への影響)」となります。
8	地域高規格道路である松系道路を高速道路と勘違いしている住民がいる。地域高規格道路と高規格幹線道路である高速道路では、速度や車線数の規格が違う。地域高規格道路と高規格道路の違いについて、オープンハウスなども通じてしっかりと周知してほしい。	地域高規格道路とは、高速道路網と一体となって高速交通体系を築き、地域相互の交流促進・連携強化を図る規格の高い道路のことで、サービス速度は路線全体として概ね60km/hを確保するものです。車線数は2車線です。
9	安曇野道路は貴重な農地を潰す盛土計画を止めて堤防沿いに高架橋が進めるようになったと聞いている。盛土の草刈りが心配である。維持管理をしっかり行ってもらえるのか。	安曇野道路は、犀川の堤防沿いの区間は盛土の計画を進めています。いずれのルート帯も農地などへの影響は少なからず生じますが、できる限り影響が低減できるよう道路構造等を検討してまいります。

10	<p>松糸道路の整備にあたり、上下水道管や通信ケーブルなどを盛土の中に入れて占用させてたり、他企業を巻き込んで建設コストのコストダウンできると思う。また、除雪車の待機場所や広場、太陽光パネルの設置の活用など、広い視野から工夫してほしい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
11	<p>木崎湖以北の全体像を示してほしい。</p>	<p>道路事業は、整備効果を早期に発現できるよう段階的に区間を設定し事業を進めております。まずは走行の定時性確保に課題のある大町市街地区間を優先して進めてまいります。木崎湖以北については、現道活用区間とすることを整備方針としており、地域高規格道路として活用する上での課題や必要な整備内容等を検討するための調査を行っているところです。今後、各種調査結果により、現状を把握し、改善策などの整備方針ができた段階で、地域の皆様に説明してまいります。</p>
12	<p>もっと多くの市民、特に若い人、道路を使う世代の人たちに説明していく方がよいと思う。 封書一つで全戸に説明会の案内をしているが、会場に来たくても来れない人がたくさんいる。説明会よりも丁寧な説明が入った封書を全戸配布してほしい。 この説明会で本当に理解は得られたと思っているのか。推進の立場からの署名活動と、見直し問題ありの立場での署名活動では、推進の署名の約3倍の市民が見直し問題ありの署名としている。市民の意見をアンケートや署名などで集めてください。フェアな進め方をお願いします。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>